

問1 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。
2. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。
3. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。
4. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。

問2 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
2. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
3. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。
4. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。

問3 日本の農産物の統計において、茶の生産量は全国第2位（34%）ですが、生産額では全国の31%を占めて第1位（2019年時点）となっている都道府県はどこですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. 鹿児島県
2. 静岡県
3. 三重県
4. 千葉県

問4 九州地方の製造業出荷額において、1980年には鉄鋼や化学が上位を占めていましたが、2000年には電気機械が首位となり、輸送用機械も上位に食い込むようになりました。このように、高度な技術を用いて部品を組み立てることで製品を生産する産業を何と呼びますか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 加工組立型産業
2. 基礎素材型産業
3. 生活関連型産業
4. 知識集約型公共産業

問5 九州地方において、集積回路（IC）などの電子部品を製造する工場が、従来の重化学工業のような沿岸部ではなく、内陸部の空港や高速道路の周辺に多く立地している主な理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。
2. 原材料に大量の鉄鉱石や石炭を使用するため、海外からの輸入に便利な内陸部のインターチェンジ周辺が選ばれたから。
3. 大規模な製造装置を動かすための電力を確保するために、火力発電所や原子力発電所が集中する空港付近の立地が必要だから。
4. 工場の排水による海洋汚染を防ぐため、法律によってすべての先端技術産業は海から離れた場所に建設するよう義務付けられているから。

問6 鹿児島県に広く見られる、標高30m程度の平坦な面を持つ火山噴出物の台地では、その土壌の性質から、古くから土地利用に工夫がなされてきました。この地域の自然環境と農業の関係について説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 水はけが非常に良く水田に適さないため、サツマイモなどの畑作や畜産が発展した。
2. 土壌の保水力が極めて高いため、大規模な稲作地帯として開発が進んだ。
3. 堆積物が栄養分を豊富に含んでいたため、特別な肥料なしで稲の二期作が行われた。
4. 土壌が常に湿潤であるため、低湿地での栽培に適したレンコンの生産が盛んになった。

問7 日本の諸地域の統計において、人口は約137万人（2016年時点）で、海岸線の延長が4000kmを超えるという際立った特徴を持つ長崎県について、海岸線がこれほどまでに長くなっている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため
2. 大規模な干拓事業が繰り返された結果、人工的な海岸線が大幅に増設されたため
3. 九州地方で最大の面積を持ち、東側と西側の両方が外海に広く面しているため
4. 火山活動による溶岩の流出によって、平坦で直線的な海岸線が延々と形成されたため

問8 沖縄県の農産物において、県全体の栽培面積の割合を見ると、本島北部の東村が34%、石垣市が27%、国頭村が9%、名護市が8%を占めている果実があります。この果実の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 沖縄公立入試 類似）

1. パイナップル
2. マンゴー
3. スイカ
4. 紅芋

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問2	答え 1 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。
問3	答え 1 鹿児島県	茶の生産において、かつては静岡県が生産量・生産額ともに圧倒的な首位でしたが、近年は大規模な機械化が進んだ地域が台頭しています。特に、シラス台地などの平坦な土地を利用して効率的な生産を行い、早期収穫が可能な品種（新茶）をいち早く出荷することで、生産額において全国トップクラスに成長したのがこの県の特徴です。
問4	答え 1 加工組立型産業	電気機械や自動車（輸送用機械）のように、多くの部品を組み合わせで最終製品を作る産業を加工組立型産業と呼びます。九州では、高速道路網の整備や豊富な水資源、労働力を背景にこれらの工場が増加しました。一方、原材料を加工して他の産業の土台となる素材を作る鉄鋼や化学などの産業は基礎素材型産業と呼ばれ、以前に比べて出荷額に占める割合は低下しています。
問5	答え 1 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。	集積回路（IC）は、鉄鋼や石油化学などの製品と比べて非常に小型で軽く、製品あたりの価格が高い「高付加価値製品」です。そのため、船舶による大量輸送よりも、高速道路を利用した自動車輸送や、空港を利用した航空輸送によって、市場の需要に合わせて迅速に出荷することが重視されます。このように交通の利便性を求めて内陸部に工場が並ぶ様子から、九州はアメリカの事例になぞらえて「シリコンアイランド」と呼ばれます。
問6	答え 1 水はけが非常に良く水田に適さないため、サツマイモなどの畑作や畜産が発展した。	シラス台地は火山灰などが厚く積もってできており、水分が地下に浸透しやすいため、水を溜めておく必要がある水田稲作には適していません。そのため、江戸時代に伝来したサツマイモのように、水はけが良く乾燥した土地でも育つ作物の栽培が広がりました。近年ではスプリンクラーなどの灌漑施設の整備により、野菜栽培や畜産も盛んになっています。
問7	答え 1 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため	長崎県は離島の数が日本一多く、県全体の面積は全国で37位程度と決して大きくありませんが、五島列島、対馬、壱岐などの島嶼部や、リアス海岸をはじめとする複雑な地形を含んでいるため、海岸線の総延長は北海道に次ぐ全国2位となっています。統計資料において、面積が同程度の他県に比べて海岸線が圧倒的に長い数値を示している場合は、この地理的特色を判断材料とします。
問8	答え 1 パイナップル	東村や石垣市は、沖縄県特有の酸性の赤土（国頭マーヅ）が広がる地域であり、この土壌に適したパイナップルの栽培が大規模に行われています。特に本島北部の東村は「パインの村」として知られ、県内最大の栽培面積を誇ります。選択枝にあるマンゴーやスイカも沖縄で栽培されていますが、東村や石垣市が突出した割合を示すのはパイナップルの特徴です。